



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

2022年2月17日

環境大臣 山口 壯 殿

ライク株式会社
代表取締役社長 岡本泰彦

ライクグループは、「...planning the Future～人を活かし、未来を創造する～」というグループ理念に基づき、ゆりかごからハッピーエンディングまで、人生のどの段階においてもなくてはならない企業グループを目指しております。事業を通して、脱炭素社会の構築や環境保全に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献いたします。

1. ライクグループは、事業活動を通じて環境教育の振興を推進し、持続可能な社会を支える人材の育成に貢献します。

- 「のびやかに育て 大地の芽」を保育理念に掲げ、あたたかな環境の中で、一人ひとりの心に寄りそい、人や物・自然との豊かな出会いや体験を通して生きていく力を育てるための独自のプログラム「自然共育（しぜんともいく）」（商標：第5575041号）に基づき、食育や脱炭素チャレンジカップといった環境イベントへの参加等を通じ、持続可能な社会を支える人材の育成に貢献いたします。
2020年11月末現在、運営する保育施設は374ヶ所、預かり児童数は10,525名、となっておりますが、事業の拡大とともに、保護者様、地域の皆さまを含め、より多くの方に対し、環境保全に対する意識を高める取り組みを推進し、社外に発信してまいります。
- 介護施設において、ご入居者様のレクリエーション等に自然と親しむものを積極的に取り入れるとともに、ご入居者様によるグリーンカーテンの設置や施設内での植物や野菜の栽培等により、環境保全を推進し、社外に発信してまいります。
2020年11月末現在、運営する介護施設は24ヶ所、ご入居者数は約1,400名となりますが、事業の拡大とともに、ご家族様、地域の皆さまを含め、より多くの方に対し、環境保全に対する意識を高める取り組みを推進することで、持続可能な社会を支える人材の育成に貢献いたします。
- 社員や派遣スタッフ様に対し1年に2度実施する個人情報研修及びコンプライアンス研修に、環境問題や自然保護に関する研修を加え、社員の環境問題に対する知識の構築と意識改革に努めます。
2020年11月末現在、社員は7,273名、派遣スタッフ様は生活インフラを支えるモバイル販売・コールセンター・物流・保育・介護・建設といったレガシーな業界を中心に7,362名となっておりますが、事業の拡大とともに、より多くの人材に対し、環境教育の機会を提供し、社外に発信してまいります。
- 事業を通じて、お子様・保護者様、ご入居者様・ご家族様、求職者様・クライアント様といったステークホルダーに限らず、保育・介護施設の地域の皆さま等に、自然を利用する文化を継承する価値を認識いただき、2050年には、自然に関心を示す割合が9割以上、自然体験を恒常的に行う若者の割合を8割以上にすることを目指します。

2. ライクグループは、事業活動を通じて環境への負荷の低減に注力するとともに、循環経済の実現に向け、積極的に行動します。

- 「プラスチック・スマート」に参加し（2021年1月より順次登録完了予定）、保育施設・介護施設・オフィスにおいて、ワンウェイ（使い捨て）プラスチック使用を控えること等によるプラスチック削減やごみの分別活動を行うとともに、取り組みについて、積極的に社内外に発信してまいります。また、7,273名の社員だけでなく、10,525名の預かり児童とその保護者様、約1,400名の介護施設のご入居者様とご家族様、保育・介護施設の近隣地域の皆さまなど、事業活動を通じたステークホルダーの皆さまにもご参加いただけるような取り組みを意識してまいります。
- 保育施設において、ご家庭で発生したプラスチック製のごみ（トレイ、ペットボトルキャップなど）を回収するBOXを設置することで、子どもの工作や職員の手作りおもちゃへの転用や、寄付等によるリサイクル活動を推進するとともに、取り組みについて、積極的に社内外に発信することで、業界全体に浸透させることを目指します。
- 事業を通じて、徹底的な資源の循環を推進し、2025年に、出口側の循環利用率47%を目指します。

3. ライクグループは、CO₂の排出量を削減し、脱炭素社会の構築に積極的に取り組みます。

- 温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにすることを目標に掲げます。温室効果ガス排出抑制等指針を活用した取り組みや最先端技術の導入、クレジット活用等を検討・実施し、社内外に公表してまいります。
- 「再エネ100宣言RE Action」に参加し、2030年に再エネ40%達成、2050年に再エネ100%達成を目標に掲げており、目標の達成に邁進いたします。
- 拠点の新規開設や、保育施設・介護施設を新規開設する際は、地球温暖化に配慮された建物を選定、内装についても間伐材を使用した家具やおもちゃ等CO₂の排出を最低限にできる設備・備品を選定いたします。
- グループの一部で導入済みの電子決裁・電子契約・web給与明細等をグループ全体へ導入する他、デジタル化の推進により一層注力することで、グループ内外のペーパーレス化を実現いたします。保育施設においては、連絡帳アプリの導入を進め、消費する連絡帳を2022年度にゼロにすることを目指します。
- 会議・面接・人材事業での求職者様の登録等についてオンラインを推進することで移動機会を削減するとともに、全ての事業において業務効率の最大化による残業時間の削減、クールビズ・ウォームビズを意識した身だしなみガイドラインの設定等により消費電力量を削減いたします。

4. ライクグループは、環境配慮型経営に取り組み、広く環境の保全に貢献します。

- 環境経営システムの仕組みを作り、効果的、効率的、継続的に取り組むべく、2021年度の「エコアクション21」の認証取得を目指してまいります。
- 備品の購入時は、グリーン購入ネットワーク等を活用することで、積極的にグリーン購入法適合品やエコマーク商品を選定してまいります。

5. ライクグループは、自身が社会課題の解決に貢献するだけでなく、ESG関連の課題解決に取り組む企業を応援します。

- 保育・人材・介護というライクグループの主要事業自体が社会課題の解決のために存在しておりますが、M&Aを積極的に行っており、ベンチャー投資の実施や、投資会社の運営もしていることから、ESG関連の課題に取り組む企業への出資や事業提携も推進してまいります。

ライクグループは、上記取組の進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

